

令和元年度 あやの台保育園事業報告

1. 概要

①運営報告

- 育児休業を取得される方が多くなり、1歳児からの入園を希望される方が年々増加しています。また3歳児以上の2号認定の希望者も多いことから併設の幼保連携型認定こども園あやの台幼稚園とも連携し、受け入れ人数の調整を行いました。今年度4月より橋本市南西地域に公私連携型のこども園が開園しましたが、今年度の入園児数には影響は見られませんでした。しかしながら市内の子どもの数も地域により大きくばらつきがみられるため、園児獲得が厳しい状態になってきていますので、市内で選ばれる園となるよう一層の保育・教育の充実、人材育成に努めます。
- 2019年10月より実施された幼児教育・保育無償化に伴い、現在の保育料以外の費用等についての見直しを行いました。費用等の変更等については重要事項説明書で保護者への説明、同意を得ました。
- 一段と人材の確保が難しくなっているため、若手保育者のリーダー起用などで意識向上やパート職員の研修の充実によるスキルアップに取り組み、また子育て中の職員も就労しやすい環境づくりに努めました。新規の採用についても実習懇談会への積極的な参加や大学・短大・専門学校及びハローワークなどへの働きかけも引き続き行い、又人材紹介会社や派遣会社などの情報収集に努めました。
- 大型遊具は経年劣化が見られたため、令和2年9月頃に入れ替え予定です。

②定員 110名 合計125名(定数外15名)

③事業日数 291日(日・祝日及び12月29日～1月3日は休園とします)

④開園時間 平日 7:00～19:00
土曜日 7:00～18:00

⑤保育時間

平日	早朝保育	7:00～8:30	土曜日	早朝保育	7:00～8:30
	通常保育	8:30～16:30		通常保育	8:30～16:30
	延長保育	16:30～19:00		延長保育	16:30～18:00

⑥職員数

園長1名、主任保育士1名、看護師2名、保育士23名(うちパート保育士11名)
保育補助3名、栄養士2名、調理員3名、その他2名
育児休業2名取得しました。

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私達は、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子ども達がいきいきと生活、活動できる環境を整える
- 自分らしく生き抜いていく土台を培う
- 立腰保育・教育で心と体を整える

③保育目標

- 友だちと助けあえる子
- 心身ともに健康な子
- 失敗を恐れず、色んなことにチャレンジできる子
- 優しさや思いやりのある子
- 腰骨を立てる 躰の三原則（挨拶は自分から先にします、返事はハイとはっきりします、履物を揃え椅子は入れます）

④クラス体制

0歳児	9名	保育士	3名
1歳児	20名	保育士	3名（1歳児加配2名）
2歳児	24名	保育士	4名
3歳児	24名	保育士	2名
4歳児	24名	保育士	1名
5歳児	24名	保育士	1名
合計園児数	125名	保育士	16名

園長	1名
主任保育士	1名
延長保育担当保育士	2名（うちパート保育士1名）
一時預かり事業（一般型）	1名
地域子育て支援拠点事業	3名（うちパート保育士等2名）
利用者支援事業	1名
病後児保育事業	2名（看護師・保育士）
保育補助、その他	3名

⑤保育内容

- 教育哲学者 森信三先生提唱の「腰骨を立てる」(立腰教育)を目指し、「挨拶は自分から先にしよう」「返事はハイとはっきりしよう」「履物を揃え、イスをいれよう」の躰の三原則も日々積み重ねて実践してきましたが、保育者間での共通の意識に対する課題(正規保育士と非常勤保育士の意識の差)も見られたため、今後も園内外の実技研修等を通して職員の意識向上に努めました。
- 乳児クラスは、保育士の愛着関係のもと安心して過ごせるよう、子ども一人ひとりの発達、状況に合わせた関わりを大切に、少人数のグループで過ごしました。保育士間の連携や動線、環境構成についても話し合いをしながら進めました。「一日の流れ」の見直しもしながら次年度へ引き継ぎます。尚、「じゃれつき・運動遊び」の内容が若干マンネリ化してきたため、実践の研修を通し学ぶ機会を作りました。
- 石井方式幼年国語教育(漢字仮名まじり絵本等)や時計、百玉算盤の進め方については実践の研修を行い共通理解が持てるようにしました。引き続き日々継続し、より一層興味関心が持てるように進めていきます。
- 仲間とのコミュニケーションづくりや体力づくりの為、安田式遊具を用いての「共感遊び」や「サーキットあそび」など日々取り組み、また園内研修等で実践を通して学ぶ機会も作ってきました。引き続き継続して「感覚統合」の考え方を意識した遊びやリトミックも行い情緒や体の発達を促していきます。
- 毎月の製作(絵画)活動により表現する機会が増やしました。
- 栄養士と作成した年間食育計画に基づき、食育のテーマ「キッズアニマルランド」を行い、子ども達が食材や献立に関心を持ち、またクッキング活動等を通して食に関する興味・関心を深め食育活動に取り組みました。親子クッキング2回(11月9日、2月1日)ではアンケートで希望の多かった“手作りおやつ作り”を実施し大変好評でした。「保育を楽しむ日」に食べていただいた給食についてはアンケートを実施し、今後の献立等に反映できるようにしました。家庭とも連携して食育を行なえるようおたよりやレシピ冊子の配布等でも情報発信を行っていきます。
- 保育理念にある子どもの発達や個人差、また、国籍や文化の違いなど、子どもの個性人格を尊重し、人権に配慮した保育を行うことを職員全体で確認するとともに、全国人権擁護委員連合会のリーフレット「種をまこう」を使って人権年間計画を作成し月一回こども達と話し合う機会を作りました。
- 「自然体験学習」を通して森の散策や竹切り、木工クラフトなど地域のボランティアの方々と接したり、自分たちで考えたり、工夫したりする場の体験ができました。今後も地域資源を利用し積極的に体験を行っていきます。
- ユネスコスクールの教育テーマである「ESD」(持続可能な社会開発のための教育)については職員の意識向上が必要であると考えます。小学校とも連携し継続して行えるように取り組んでいます。

⑥家庭との連携

- クラス懇談会(4・5月)では、保育理念、目標、保育内容、立腰教育、基本的な生活習慣の重要性についての内容はレジュメ等を作成して保護者に伝え、年2回(6・2月)の個人懇談では、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを具体的にわかるように伝えました。

- 今年度は保護者の希望もあり保育参加日（保育を楽しむ日）を年2回にしました。園での子どもの様子を見て頂き、一緒に給食を食べて感想を聞いたりアンケートを実施したりし、園の保育についてより理解を深めてもらう機会作りに努めました。頂いたご意見や感想は玄関カウンターに置き、保護者の方にいつでも閲覧していただけるようにしました。0, 1, 2歳児クラスは保育参観に加え、保育参加も実施しました。クラスによっては保護者への言葉がけなどが足りない様子も見られたので次年度に向けて改善していきます。
- 保育内容等については、ホームページのブログやおたより、掲示物やメール配信などできる限りリアルタイムに情報発信を行い、保育内容等については保護者に周知を図ることが出来ました。
- 園行事や環境整備等保護者に積極的な参加を促し、保護者同士や園との相互理解が深まるように努めました。
- 親子で一緒に遊び体験できるイベントや講座については親子クッキング以外の内容は日程などが合わず実施できませんでした。
- 5歳児の保護者向けにあやの台小学校の校長による「小学校入学に向けての話」を実施しました。（2/13）参観と合わせて行ったこともあり、大半の保護者が参加され熱心に話を聞いておられました。今後も小学校と連携し継続して行きます。

⑦人材育成

- 園内研修【保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、発達、運動、感覚統合、リトミック、わらべうた、立腰など】や、法人内研修【三法人合同研修、一日の流れ実践研修】または外部の研修会【日本保育協会主催研修、近畿ブロック女性部会研修、主任保育士、乳児保育、健康・安全、和歌山県主催の地域子育て支援、幼少連携・接続推進、キャリアアップ研修（幼児教育、保育実践）橋本市主催等の発達支援（1回）、乳幼児のアレルギーについて、災害時の保育と給食、安田式体育遊び（2回）、感覚統合（2回）危機管理・安全（1回）】橋本市私立保育園会主催の研修会（2回）、人権講習会等に参加し、専門職としての知識や技術の向上を図りました。非常勤保育士も積極的に参加できるようにし、共有できる時間を作るように努めました。
- 立腰保育については、特に非常勤保育士に研修の時間を多くとり子どもへの関わり方などの実践研修を行いました。非常勤職員の意識向上にもつながり、全職員が同じ意識で今後も丁寧に根気強く継続していきます。保護者にも情報発信を行いながら一緒に取り組んでいきます。
- 研修計画に基づき、看護師による保健研修を月1回行いました。継続して行う中で内容等が同じものがあるため、外部研修に参加し外部資料を使うなどし、マンネリ化しないように工夫しました。実技研修（救命救急 AED・アレルギー・SIDSなど・感染症対応など）も引き続き積極的に行いました。
- 橋本市私立保育園会主催の研修会（5月「非認知能力と10の姿」、11月「虐待の現状と対応について」保護者対応について）を行いました。
- 隅田中学校区の小学校のサマースクールや地域の活動に積極的に関わることで、地域と共に子育てをしていくという意識を持てるようにしました。（サマースクール、土曜講座、わいわい集会、講習会等）

- 市の発達相談員等による園訪問で子ども達の様子や保育についてみて頂き、配慮の必要な子どもへの関わり等の話し合いを行い保育の向上に努めました。
- 園内の知りえた情報は速やかに園長、副園長、主任に報告・連絡・相談し、全職員が共有できる組織体制づくりの徹底に努めました。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援センター事業「ポトフのおなべ」

- 市の広報誌に地域子育て支援センターの欄を設けてもらい、継続して情報発信を行いました。また、ホームページやメール配信でより細かく又リアルタイムで情報発信も行いました。
- ルーム開放の延べ約419組（907名）や親子登園2歳グループ143組（294名）、1歳グループ約130組（276名）、園庭開放約156組（333名）、子育ての集い164組（345名）、おはなし広場約65組（138名）、公園出張30組（67名）、サークルへの出張は34組（76名）の参加、利用がありました。
市の保健福祉センターへの出張「ハイハイヨチヨチ」143組（293名）、「8か月遊びの教室」134組（287名）の参加がありました。
- 橋本市市民病院内にも子育て情報のおたより等を月1回持参し、情報発信を行いました。
- あやの台ハウスや集会所を有効活用し、ほっとできる環境の提供やさらに良い親子の交流、相談ができるようにしました。（妊婦、0、1歳の親子など）221組（444名）
- 地域の子育て家庭を対象に幼稚園と合同の説明会や体験保育を行い、親子のふれあい遊びや絵本紹介などのコーナーの充実、給食、おやつレシピ等の情報提供を行いました。
- 橋本市より委託を受けている「利用者支援事業」での相談件数は48件でした。橋本市に子育て世代包括支援センターが開設されたこともあり、今年度で受託は終了となります。

その他の事業

- 一時預かり事業の利用者は429名でした。里帰り出産や育児負担解消等での利用や問い合わせも多いことから、利用数も増加しています。
- 病後児保育室の利用は10名でした。他園在籍の方からの問い合わせもあるため、今後も病後児保育室の必要性を市と協議していきます。
- 高校生（9名）中学生の職業体験学習（11名）、実習生（12名）の受け入れを行いました。
- 地域の幼保小中校との交流（公開保育、授業参観、講座参加など）や職員の情報交換を行いました。中学校区の教育関係者や地域の方と行う共育コミュニティ活動（共育ミニ集会（12/7）、ワクチンを届ける“エコキャップ集め”地域清掃、小学校の土曜講座やサマーチャレンジの参画など）にも積極的に参加しました。
- 毎月の市の移動図書館（ブッキー号）の来園時に、子育て支援担当者と連携を図り、絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、絵本に触れる機会を多く持ってもらえるようにしました。
- 小学校、地域自治会等と連携し、8月に「夏祭り」に参加しかき氷の出店を行いました。
- 同地域内の小学校の学童保育利用の児童との遊び等の交流は、本年度学童施設の増設工事等もあり実施できませんでした。

- 「緑の募金事業」の補助を受け、園周りへの植樹（サツキツツジ300本）や「郷土の森自然学習棟・ひだまりの郷」にて体験を行いました。

⑨苦情処理

- 苦情解決窓口（苦情受付担当者を松山利加、解決責任者を武藤廣茂と）、第三者委員（2名）の設置を入園準備説明会（2/24）時に重要事項説明書の説明や掲示等で保護者に知らせました。
- ご意見 BOX への投かんはありませんが、口頭での意見、要望等を伺ったものについては、24時間以内に回答することを心掛け、今後も速やかに対応していきます。保護者や地域の方からいただいたご意見は2件でした。

⑩リスクマネジメント

- 危機管理マニュアル（災害、防犯、感染症、食中毒、衛生、アレルギーなど）は実施研修をしながら内容の見直しを行いました。
- 事故防止のためにヒヤリハットや問題解決用紙の内容は、昼礼などで迅速に情報の共有が出来るよう心掛けました。
- 施設内外の設備、用具等の清掃、消毒・点検などについては看護師が中心に行い、衛生管理に努めました。
- 年2回消防署との総合訓練や消防点検など、関係機関と連携し、災害時に備えました。非常用の備蓄品は3日分（アレルギー用も備蓄）の消費期限の確認を行い給食として提供し、新たに購入しました。11/27に防犯訓練を実施し職員、子ども達の防犯意識を高める機会としました。
- 非常災害時や感染症発症や不審者などの情報については、リアルタイムでメール配信と掲示板により、保護者に伝え防犯意識向上に努めました。
- 保健所からの感染症等の情報についてはリアルタイムで情報提供を行いました。園内の感染症等のお知らせや注意喚起はメールや手紙、張り紙でお知らせしました。
給食室の立ち入り検査（11/1）が行われましたが、指摘事項はありませんでした。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、2/29の入園準備説明会は行わず個別対応としました。
コンサートは中止、卒園式は時間短縮し行いました。
検温・健康観察等や不要不急の外出を控えてもらうなど保護者にもお知らせし、園内でも手洗い・消毒、換気などの徹底、机や椅子、おもちゃなどの消毒また職員の健康管理にも努めました。

⑪設備の改善及び物品購入について

- ・大型遊具は令和2年9月頃入れ替え予定
- ・パンフレットは6月中に完成予定